


- 情報と文脈をセットで捉える
  - 断片的な情報の限界
    - SNSの短い言葉では深みが出ない
    - 単なる物知りでは話が弾まない
  - 
    背景にある物語を掴む
    - なぜそうなったかの理由を本で知る
    - 知識を線でつなげて理解を深める
    - 独自の視点が加わる⇒「面白い話」へ
- 自分の違和感を大切にする
  - 心の動きを見逃さない
    - 読書中の小さな違和感を言語化する
    - 自分の心のモヤモヤを掘り下げる
  - 
    著者との対話を楽しむ
    - 意見を鵜呑みにせず自分の頭で考える
    - 自分の心の動きを言葉にする
    - 独自の感性が話の魅力につながる
- 多様な視点を取り入れる
  - 
    思考のメガネを増やす
    - 複数の見方で世界を捉える力を養う
    - 「正解」を探すために読むのではない
    - 一つの価値観に縛られない柔軟さを保つ
  - 未知のジャンルに挑む
    - 自分と違う考え方の本をあえて読む
    - 多角的な視点が豊かなトークを生む